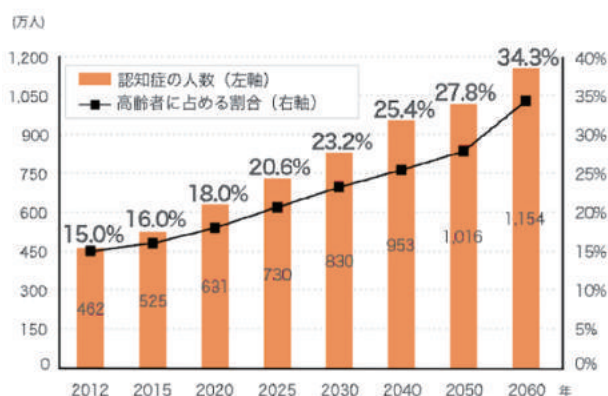




もしかして、認知症？ —「認知症」に対する当法人の取り組みについて—

皆さまは、『もし私が「認知症」になったら…』と想像したことはありませんか？わが国では、8年後の2025年（平成37年）には約700万人、65歳以上高齢者の5人に1人が認知症になると推計されています。



▲「2016年度版高齢社会白書」21P 内閣府 HP より

この数字は、65歳以上高齢者の2人に1人が、“自分が認知症になる、あるいは認知症の方を介護する”という認知症に関わる立場になる可能性を示しています。超高齢社会を迎えたわが国で、「認知症」は誰もが避けては通れない身近な病気と言えるでしょう。

2017年3月末の集計では、長尾病院に入院中の方の30.9%、老健センターながおに入所中の方の38.8%が、常時介護を要する認知症（認知症日常生活自立度Ⅲ以上）を合併していました。認知症に対する適切な対応（ケア）は、患者さまの「生活の質＝QOL」を高めるためにも

老健センターながお 事務主任 久保 勝浩
大切な課題です。

長尾病院では、認知症の専門研修を受けた看護師7名を病棟に配置するとともに、定期的に勉強会を開催して、認知症ケアの向上に努めています。また、認知症の症状の緩和を図りながら、本来の身体疾患に必要な治療・リハビリが円滑に行えるように看護計画の作成・実施・評価に取り組み、2016年7月から国の定める施設基準『認知症ケア加算2』を満たしています。

一方、老健センターながおでは、在宅復帰および在宅生活の継続を支援するなかで、認知症の方への「生活リハビリ・脳活性化リハビリ」を実施しています。6階認知症専門棟では、「高・重度認知症」の方を積極的に受け入れて、周辺症状（徘徊・幻覚・妄想・興奮・暴行など）に対しても、できるだけ薬（向精神薬）を使わずに、「その人らしい」生活を取り戻せるように支援します。

法人全体として、認知症ケアの技術と倫理観を備えた「認知症ケア専門士」の養成を推進し、現在は病院看護師6名、リハビリ専門職6名、さらに老健職員3名が資格を取得して医療・ケアの場面で活動しています。

そのほか、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進として「認知症サポーター養成講座」を職場や地域の公民館などで研修を

（次ページへ）

開催し、認知症サポーターのシンボルである「オレンジリング」の輪も広がっています(写真右)。

当法人は、「早期診断・治療、早期対応を軸として、病院と老人保健施設と在宅サービス部門の緊密な連携による支援体制をとっております。

今後、ご家族の介護負担が増大して在宅生活の継続が困難になった場合には、全室個室ユニット型の特別養護老人ホーム（関連法人の鹿助荘・藤ヶ丘荘）が在宅に代わる「生活の場」として認知症の方を支援します。

「もしかして、認知症？」と不安に感じたときや、運転免許更新時検査で「認知症のおそれがある」とされた場合の医師の診断についてのお問い合わせは、是非、お気軽に当法人にご相談ください。



▲オレンジリングを手にした認知症サポーターの職員

◇長尾病院「もの忘れ外来」

- 担当医師：老健センターながお施設長 濱田 建男
金曜日（午後）予約制
- 担当医師：神経内科専門医 福井 律子
月曜日（午後）・水曜日（午前）

◇相談窓口

- 地域連携室：医療ソーシャルワーカー
- 老健センターながお
認知症介護相談窓口：事務主任 久保 勝浩

新任医師のご挨拶

回復期リハビリテーション病棟専従医 前原 史明

はじめまして。今年4月より4階回復期リハ病棟勤務となりました。生まれは阿蘇、高校までは熊本県と大分県の間を行ったり来たり、小学校は2校、中学校は3校、高校も2校に通いました。熊本大学に入学後はテニス三昧、テニスは医学生レベルとしてはそこそこ上手くはなりました。

1972年（昭和47年）卒業、脳外科医を目指し熊大脳神経外科医局に入局するも脳外科の患者となってしまいました。事故にあい急性硬膜下血腫を発症、脳ヘルニアを生じ、緊急手術で救命されましたが左半身マヒが残りました。2年間患者としてリハビリを頑張りましたが脳外科への復帰は叶わず、1977年（昭和52年）神経放射線を学ぶため、福岡大学放射線科に入局、15年間福岡（途中2年間は久留米の聖マリア病院）に勤務しました。

その後、人吉市・薩摩川内市・荒尾市・熊本市などの病院を転々とし、4人の子供も社会人となりました。気づけば70才、男性の平均寿命から余命わずか10年ほど。老後を子や孫のいる福岡で楽しく過ごしたいと思い帰ってきました。

リハビリ主体の当院で働かせていただくなかで私にできることは？…リハビリの患者としての経験とこれまで勉強してきた神経放射線の知識がここでの医療に



少しでも役に立てばと思います。リハビリ専門医ではございませんが、前任の病院などで経験しております。医療チームとして皆さんと取り組んで行きたいと思います。一人ひとりの患者さんの笑顔が見られるよう、病める人の心のケア・励ましまで、踏み込んでいけたらと思います。よろしくご助力ください。

最後に、その後のテニスについて少々。現在は障害者のテニスで守備範囲が狭く、おまけに年も取って、腕は落ちる一方。年を取っても付き合ってくれる女房とはC級、D級の試合に出ても勝てません。唯一わがままの言える息子を叱咤しながら勝利に向かって頑張っています。息子と組む時だけが勝てるチャンスで息子には頭が上がりません。

新任医師のご挨拶

神経内科専門医 福井 律子

●私の略歴

はじめまして。今年5月から長尾病院に神経内科医として勤務させていただいております。

1978年(昭和53年)に大阪市立大学を卒業し、その頃、東大と九大にしか神経内科学講座がありませんでしたので、日本で初めて「神経内科」を標榜された黒岩教授のおられる九州大学神経内科に入局しました。第一内科・第二内科で研修し、神経内科では主に臨床神経生理学、特に脳波と視覚誘発電位の研究を行いました。

夫のアメリカ留学を機に大学を辞し、3年間「主婦業」に従事していましたが、あまり家事に向いていないことが判明し、帰国後は田舎の病院で神経内科医として神経難病や認知症の診療に従事していました。

●21世紀は「脳の時代!？」

日本は高齢化社会で、2012年の時点で認知症患者がすでに462万人を突破し、前段階である軽度認知機能障害400万人含め800万人以上の患者さんがいます。実に65歳以上の

4人に1人が認知症あるいは予備軍ということになります。

また、生活習慣病由来の脳血管障害などを含め21世紀はますます脳の病気が増加していき、医療と介護の現場で大きな比重を占めていくと思われます。糖尿病や高血圧などの生活習慣病をコントロールして血管性認知症の発症を予防し、アルツハイマー型認知症をできる限り早期に発見して、進行を予防していくことがとても大切だと思います。

神経内科医として、皆様のお役にたてるように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



◇福井医師の外来診療について

●担当：月曜日（午後）・水曜日（午前）

●窓口：外来看護師 / 森川・増永まで

各種検査について（シリーズ3） 血液一般検査1

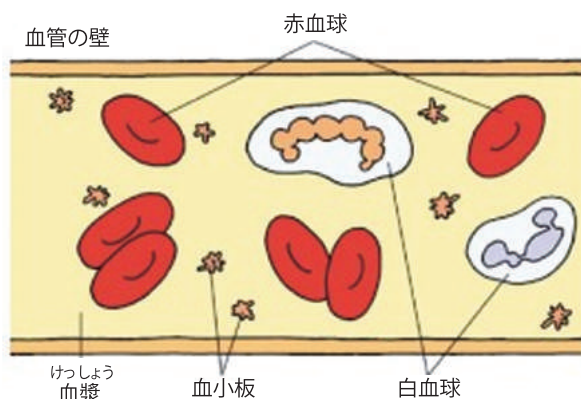
理事長 服部 文忠

●血液一般検査

血液は体内を循環し、酸素や栄養素を運び、古くなった代謝産物を運び去るなどの働きをしていることはご存知と思います。血液中には、液体成分である血漿と浮遊している細胞成分があります。赤血球(RBC)・白血球(WBC)・血小板という3種類の細胞成分(血球)の状態を調べる検査を「血液一般検査」といいます。

●貧血

赤血球は、肺で取り込まれた酸素を組織に



▲『血液のふしぎ』(奈良信雄/サイエンス・アイ新書)より

(次ページへ)

運ぶ役割をしており、赤血球の数（RBC 数）、赤血球が含むヘモグロビン（酸素を運ぶ役割を担う）という色素の量（Hb）、血液中の赤血球が占める割合（Ht）が調べられます。赤血球が減った状態を貧血といいます。普通、貧血の程度は Hb の量で表します。基準値を下回っても年齢などを考慮する必要があります。主治医に説明を受けてください。また、赤血球が増えすぎた状態を多血症といいます。骨髄の病気である真正多血症は血液が固まりやすくなり、血栓症を起こしやすく、治療が必要です。

●赤血球恒数

現在、血液一般検査は自動血球カウンターという機器で測り、即時に結果が出ますが、同時に「赤血球恒数」という赤血球の状態が自動的に計算され、表示されます。

- ・平均赤血球体積 MCV は赤血球一個の体積の計算値
- ・平均赤血球色素 MCH は赤血球一個が含むヘモグロビンの量の計算値
- ・平均赤血球濃度 MCHC は赤血球一個が含むヘモグロビンの濃度の計算値

左下 3 つが貧血の原因を診断するのに役立ちますが、特に MCV が貧血の診断に役立ちます。

例えば、若い女性に多い鉄欠乏性貧血では MCV が下がっています。ただし、RBC 数・Hb・Ht・赤血球恒数は基準値を外れることが多いので検査結果用紙に上下の矢印が付いていても病気であるとは限らないことが多いこともありますので、お気軽に医師にご相談ください。

検査項目	基準値の範囲
RBC (赤血球) ×104	M410 ～ 530 F380 ～ 480
Hb (ヘモグロビン) g/dl	M14 ～ 18 F12 ～ 16
Ht (ヘマトクリット) %	M39 ～ 52 F35 ～ 48
MCV (平均赤血球体積) fℓ	83 ～ 93
MCH (平均赤血球色素) pg	27 ～ 32
MCHC (平均赤血球濃度) %	32 ～ 36

▲当院の基準値

■診療科目

- ◆内科 脳神経内科・神経内科・脳内科・循環器内科
血管内科・糖尿病内科・内分泌内科
腎臓内科・人工透析内科・胃腸内科
内視鏡内科・老年内科
- ◆リハビリテーション科 ◆整形外科 ◆リウマチ科

■診療時間

午前9時～午前12時（受付：午前11時30分まで）
午後1時～午後5時（受付：午後4時30分まで）
〔土曜日/午前中のみ〕

■休診日

日曜・祝日・盆休み（8月14、15日）
年末年始（12月30日～1月3日）



●基本理念 「一人ひとりのライフステージに応じた 最良の医療・福祉を提供する」

■発行/医療法人 順和

長尾病院
老健センターながお
Nagao
HOSPITAL
ながお在宅ケアセンター

所在地/〒814-0153 福岡市城南区樋井川3-47-1

電話/092-541-2035 FAX/092-541-2045

ホームページ/ <http://www.nagao.or.jp>

長尾病院

検索

◎誌面へのご意見・ご要望は長尾よかだより編集委員会までお寄せください。

長尾病院外来担当一覧表

2017年7月1日現在

			月	火	水	木	金	土
内科	内科一般	午前	石田	江崎・古森・河野	福井・久留島	松浦	久留島・北村	交代制
		午後	福井	古森・河野	池之上	江崎(予約)・石田	北村	
	糖尿病・甲状腺	午前	浅野	河野	浅野		北村	園木
		午後					北村	
	慢性腎臓病内科 高血圧内科	午前	服部	吉光(予約)	服部	服部(予約)	服部	
		午後						
	甲状腺・内分泌	午前						
		午後			池之上			
	リウマチ	午前	服部・浅山(予約)		服部・浅山(予約)	服部(予約)・浅山(予約)	服部	
		午後						
	内視鏡内科	午前			橋本	本多		
		午後			笠・橋本	本多		
	循環器内科	午前	石田		本里		竹内(予約)※	第2・4・5週
		午後			本里	石田	竹内(予約)※	
	脳卒中	午前	服部	古森	服部・久留島	薛	服部・久留島	
		午後		古森				
	脳神経内科 (パーキンソン病)	午前						
		午後				井上(尚)		
	脳神経内科	午前			福井		小西	
		午後	福井					
	リハビリ・整形外科	午前	浅山(予約)		浅山(予約)	浅山(予約)		
		午後						
	痙縮外来	午前						
		午後			浅山(予約)	服部(予約)		
	リハビリ・高次脳機能障害	午前					服部	
		午後		田川(予約)				
	リハビリ・えんげ障害	午前				薛		
		午後						
	もの忘れ外来	午前					濱田(予約)	
		午後						
	フットケア外来 (巻き爪矯正)	午前					竹内(予約)※	第2・4・5週
		午後					竹内(予約)※	

■ 新任医師のご案内（上記表の印をつけた方々です。）

4月より新しく外来担当医として、本里 康太医師（循環器内科）・橋本 恭弘
医師（内視鏡内科）・古森 元浩医師（内科一般・脳卒中専門外来）、5月からは
常勤で本文自己紹介欄の福井 律子医師が勤務しています。

院長は、理事長 服部 文忠が兼任しております。
引き続きよろしくお願い致します。

